



<産婦人科>

概要

当院産婦人科の診療活動の特徴として母体搬送を含むハイリスク妊娠を中心とした周産期管理、婦人科悪性腫瘍の診断と治療があげられる。

周産期関係では分娩数が 2011 年は 1,128 件(帝王切開率 39.8%)と多数例を扱っている。周産期の管理は母と胎児の両方の生命を考えなければならず、順調であった患者が昼夜を問わず急変することは日常のことである。他施設より送られてくる母体搬送は、このうち 161 件であった。緊急母体搬送の多くは夜間休日に送られてきているが、新生児医療センターと協力して1例1例最も良い結果となるよう努力している。母体搬送は東海3県でも最も多い施設のひとつであり、静岡県内で搬送先が見つからない場合には、県境を越えて静岡県からの母体搬送も受け入れている。その他、妊娠高血圧症候群の管理、切迫早産、前期破水等についても最新の情報を集め質の高い管理を目標としている。また、出産年齢の高齢化等に伴うハイリスク妊娠の増加に伴い帝王切開率も年々上昇している。2011 年の分娩内訳は単胎 1,080(帝王切開率 37.1%)、双胎 48(帝王切開率 98%)、品胎 1(帝王切開)である。

婦人科悪性腫瘍は子宮癌、卵巣癌が主なものである。子宮頸癌は 61 例に対して治療を行った。進行期が初期の症例は縮小手術を行っている。放射線療法を必要とする進行子宮頸癌は、主に放射線科で治療しているが、化学放射線療法(化学療法と放射線療法を同時に行う治療)を放射線科と連携して行っており、非常に良い治療効果をあげている。子宮体癌(子宮体部悪性腫瘍)は 45 例治療したが、手術療法を先行させ進行期の症例には化学療法を行っている。卵巣癌は境界悪性 2 例を含め 40 例治療を施行した。卵巣癌は初回手術として傍大動脈リンパ節郭清を含む広汎な術式を選択して腫瘍病巣を可能な限り切除している。その後、タキサン、カルボプラチン療法を副作用に注意しながら行っている。再発例も少なからず存在するが、これらの症例には、患者及び家族とよく相談し治療方針を選択している。2011 年は 133 名に延べ 534 コースの化学療法(抗癌剤治療)を行った。子宮頸癌の5年生存率は0期 100%、IA 期 100%、IB1 期 96.8%、IB2 期 100%、IIA 期 91.7%、IIB1 期 93.7%、III 期 71.7%、IV 期 47.1% であり、子宮体癌では IA 期 100%、IB 期 98.7%、IC 期 88.9%、II 期 83.9%、IIIA 期 88.1%、IIIC 期 83.3% である。上皮性卵巣癌の5年生存率は、IA 期 91.7%、IC 期 79.5%、II 期 76.2%、III 期 35.7%、IV 期 17.0% である。当科での成績は全国的にも高いレベルを示している。また、少数例ながら絨毛性疾患に対しても、治療にあたっている。

以上のほか、産婦人科領域では子宮筋腫、子宮内膜症、良性卵巣腫瘍などの治療があるが従来どおり、その症例に対して最も良い方法を選択している。特に、将来的に挙児希望のある患者に対しては、当院の総合生殖医療センターと連携をとり、将来の挙児獲得を前提において治療にあたっている。

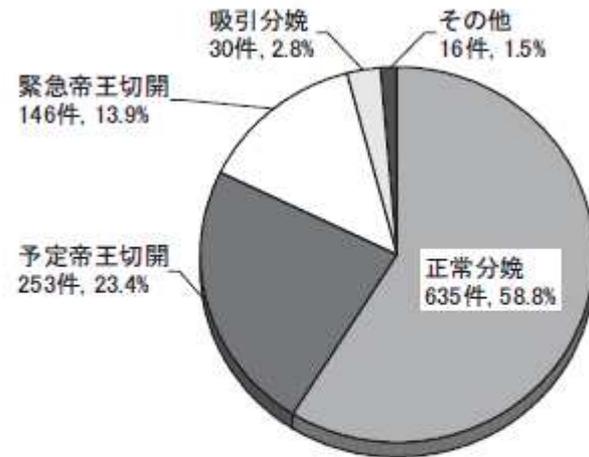
社会環境の変化は著しいものがある。特にインフォームドコンセントについては当科では可能な限り十分に説明した上患者および家族の同意を得て希望にそのような治療ができるよう努力している。

近年、産婦人科医の急激な減少により産科医療の崩壊が全国各地で起きている。東三河地方においても例外ではなく、二次医療機関の産婦人科の消滅、分娩の取りやめ、分娩制限のため、基幹病院である当院へ多くの症例が紹介されてきている。一方、当院では産婦人科を希望する若手医師は多く、毎年複数名が新たに専攻医として活躍している。また、医学生の見学も多く、年間二十名以上が訪れている。

(1) 入院患者数 述べ 2,703人
 (2) 分娩数 1,128件

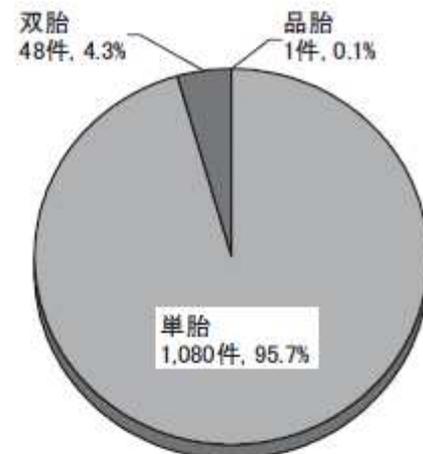
単胎 (件)	
正常分娩	635
予定帝王切開	253
緊急帝王切開	146
予定帝王切開+子宮摘出	1
鉗子分娩	4
吸引分娩	30
車中分娩	2
飛び込み正常分娩	3
自宅分娩	1
飛び込み帝王切開	1
経腔死産	4
計	1,080

分娩(単体) 1,080件



双胎 (件)	
双胎予定帝王切開	33
双胎緊急帝王切開	13
双胎吸引+緊急帝王切開	1
双胎死産	1
計	48

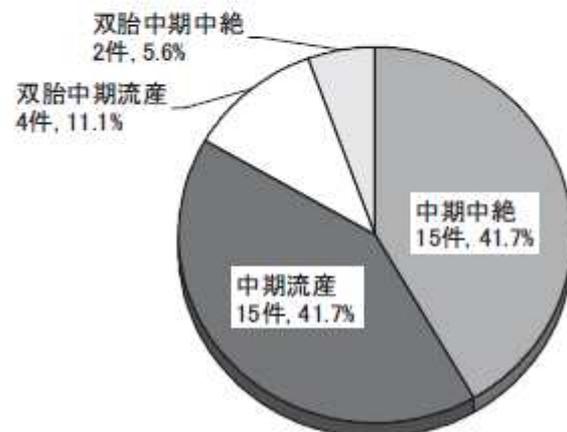
単体・双胎・品胎 1,129件



品胎 (件)	
品胎予定帝王切開	1

12-22週流産・中絶 (件)	
中期中絶	15
中期流産	15
双胎中期中絶	4
双胎中期中絶	2
計	36

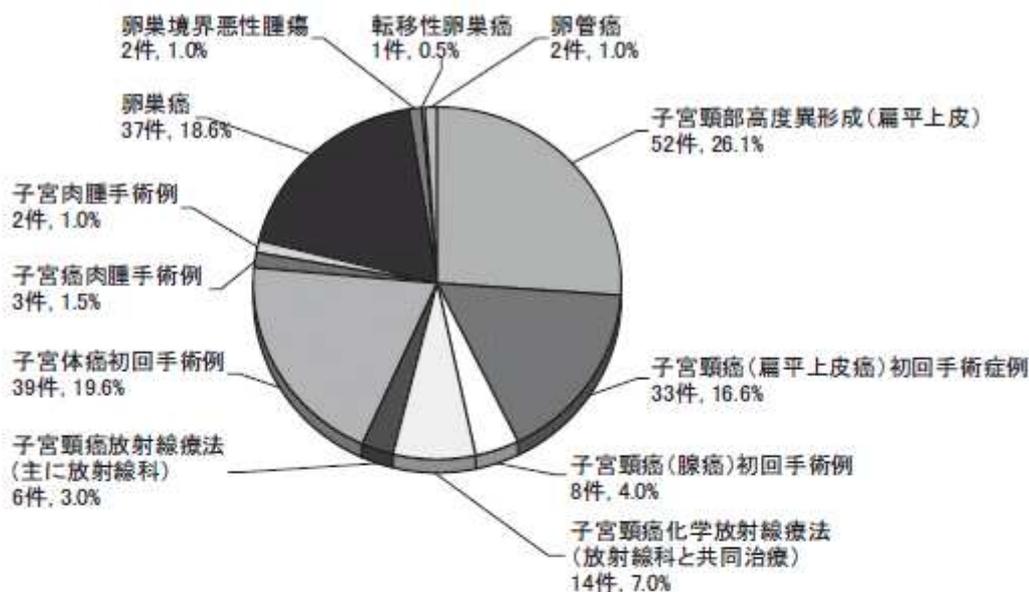
12-22週流産・中絶 36件



(3) 母体搬送 (件)	
母体搬送	161
産科合併症	716
母体偶発合併症	165
計	1,042

子宮筋腫縫合術														0
試験開腹術・開腹生検	2	2	1	1		2			1		1	2		12
開腹止血術							1							1
開腹癒着剥離術									1					1
卵巣腫瘍摘出術	2	4	2	5	4	7	3	6	3	6	4	2		48
付属器切除術	6	4	8	9	7	8	8	9	5	5	4	5		78
卵管切除術(卵管水腫など)					1	1		1						4
開腹骨盤内腫瘍・膿瘍摘出術														1
腹腔内腫瘍(卵巣腫瘍含)・ 膿瘍ドレナージ(経膈含む)			4	1		2	2	1		1				11
外陰部腫瘍摘出術												1		1
子宮頸部腫瘍(ポリープ含)切除			1							1				2
バルトリン腺嚢胞造袋術									1	1				2
円錐切除術	7	8	9	11	6		7	8	5	6	2	5		74
レーザー蒸散術		1	3	2	1	1		1		1	1			11
子宮内膜前全面搔は術		2			1	1	1		1		1			7
尖圭コンジローマ切除術		1					2							3
経膈的止血術	1	1												2
膈断端再縫合														0
断端再発腫瘍切除術														0
処女膜切開術					1									1
陰唇離断術														0
子宮鏡下子宮筋腫核出術					1									1
子宮鏡下ポリープ切除術								1						1
腹腔鏡下卵巣腫瘍核出術	3	2	1	2	2						1	1		12
腹腔鏡下子宮筋腫核出術				1	1		1							0
腹腔鏡下傍卵巣腫瘍摘出術														0
腹腔鏡下卵管切除術									1					0
腹腔鏡下癒着剥離術			1			1	1							3
腹腔鏡下内膜症性のう胞開窓術														0
腹腔鏡下内膜症病変除去術														0
手術室処置				1		1								2
合 計	81	78	96	89	95	83	92	93	80	98	78	72		1,035

婦人科悪性腫瘍 (2011 年)



(5) 悪性腫瘍 (件)

悪性腫瘍の種類	件数
子宮頸癌 (子宮頸部高度異形成を含めて)	113
①子宮頸部高度異形成 (扁平上皮)	52
②子宮頸癌 (扁平上皮癌) 初回手術症例	33
Stage0	20
I a 1	5
I b 1	6
I b 2	1
II a	1
③子宮頸癌 (腺癌) 初回手術例	8
I b 1	5
I b 2	2
II b	1
④子宮頸癌化学放射線療法 (放射線科と共同治療)	14
I b 2	1
II b	7
III b	3
IV b	3
⑤子宮頸癌放射線療法 (主に放射線科)	6
IV a	3
IV b	3

⑥子宮体癌初回手術例	39
Stage0 (異型内膜増殖症)	3
I a	5
I b	16
I c	6
II a	2
II b	3
III a	2
III c	2
⑦子宮癌肉腫手術例	3
I b	1
III a	2
⑧子宮肉腫手術例	2
子宮内膜間質肉腫 I	1
子宮平滑筋肉腫 I	1
⑧卵巣癌	37
I a	2
I c	13
II b	1
II c	7
III b	5
III c	6
IV	3
⑨卵巣境界悪性腫瘍	2
I c	2
⑩転移性卵巣癌	1
⑪卵管癌	2
I c	1
III b	1

化学療法

133人に対して、延べ534コースを施行した。

業績

- 学会・研究会発表
- 座長
- 講演
- 論文

学会・研究会発表

1. 卵巣癌術後のTC療法 12 コース目に間質性肺炎となった1例
吉田光紗、芳川修久、廣渡芙紀、向 麻利、寺西佳枝、濱野恵美、諸井博明、
横田夏子、矢野有貴、高橋典子、岡田真由美、若原靖典、安藤寿夫、河井通泰
第 128 回東海産科婦人科学会(名古屋)2011.3.6
2. 当院における「飛び込み分娩」の現状
浅井千尋、岡田真由美、廣渡芙紀、向 麻利、芳川修久、寺西佳枝、濱野恵美、
諸井博明、横田夏子、矢野有貴、高橋典子、若原靖典、安藤寿夫、河井通泰
第 128 回東海産科婦人科学会(名古屋)2011.3.6
3. 上皮性卵巣癌再発例に対してドキシル・カルボプラチン療法が著効であった1例
芳川修久
Ovarian cancer young doctor's seminar in 三河(知立)2011.6.17
4. 生殖医療における子宮頸管カニューレション困難例への対応
廣渡芙紀、安藤寿夫、山口恭平、浅井千尋、高橋明日香、吉田光紗、芳川修久、
向 麻利、横田夏子、寺西佳枝、諸井博明、矢野有貴、高橋典子、岡田真由美、
若原靖典、河井通泰
第 93 回愛知産科婦人科学会(名古屋)2011.7.2
5. 当科で経験した卵巣癌に伴う Trousseau 症候群の検討
浅井千尋、芳川修久、高橋明日香、吉田光紗、山口恭平、廣渡芙紀、山口恭平、
向 麻利、横田夏子、寺西佳枝、諸井博明、矢野有貴、高橋典子、岡田真由美、
若原靖典、安藤寿夫、河井通泰
第 93 回愛知産科婦人科学会(名古屋)2011.7.2

6. 臍動脈カテーテル(UAC)に関連した腹部大動脈血栓症の1例
吉田光紗、木下裕法、川瀬恒哉、田中達之、佐々木智章、杉本真理、戸川貴夫、幸脇正典、小山典久
第 47 回日本周産期・新生児医学会総会(札幌)2011.7.10～12
7. 選択的帝王切開における適切な分娩時期の検討
諸井博明、岡田真由美、芳川修久、向 麻利、寺西佳枝、天方朋子、若原靖典、河井通泰、幸脇正典
第 47 回日本周産期・新生児医学会総会(札幌)2011.7.10～12
8. 当院における在胎 23、24、25、26 週の早産例での妊娠延長期間と新生児短期予後の検討
向 麻利、河井通泰、若原靖典、岡田真由美、寺西佳枝、諸井博明、芳川修久
第 47 回日本周産期・新生児医学会総会(札幌)2011.7.10～12
9. 【ワークショップ】子宮頸部腺癌における同時化学放射線療法の治療成績
横田夏子、浅井千尋、高橋明日香、山口恭平、吉田光紗、廣渡英紀、向 麻利、芳川修久、諸井博明、寺西佳枝、濱野恵美、矢野有貴、高橋典子、岡田真由美、若原靖典、安藤寿夫、河井通泰、浅野晶子
第 50 回日本婦人科腫瘍学会(札幌)2011.7.22～24
10. I 期卵巣明細胞腺癌の予後は不良か？～大規模組織型別解析結果より～
東真規子、梶山広明、梅津朋和、水野美香、柴田清住、那波明宏、木下吉登、榊原克己、松澤克治、水野公雄、山室 理、中西 透、竹田明宏、河井通泰、吉川史隆
第 50 回日本婦人科腫瘍学会(札幌)2011.7.22～24
11. 卵巣明細胞腺癌再発治療中に非細菌性血栓性心内膜炎を発症した一例
芳川修久、山口恭平、廣渡英紀、向 麻利、寺西佳枝、諸井博明、横田夏子、高橋典子、岡田真由美、若原靖典、安藤寿夫、河井通泰
第 50 回日本婦人科腫瘍学会(札幌)2011.7.22～24
12. 当科における子宮頸癌に対する同時化学放射線療法の治療成績
山口恭平、浅井千尋、高橋明日香、吉田光紗、廣渡英紀、向 麻利、芳川修久、横田夏子、諸井博明、寺西佳枝、濱野恵美、矢野有貴、高橋典子、岡田真由美、若原靖典、安藤寿夫、河井通泰、浅野晶子
第 50 回日本婦人科腫瘍学会(札幌)2011.7.22～24

13. 術中腫瘍被膜破綻は I 期卵巣癌においてどの程度の予後不良因子となるか? ~
大規模組織型別解析における全生存率/無病生存率の結果から~
東真規子、梶山広明、水野美香、吉川史隆、水野公雄、山室 理、木下吉登、
松澤克治、榊原克己、河井通泰、小口秀紀、中西 透
第 63 回日本産科婦人科学会(大阪)2011.8.29~31
14. 難治性組織型を有する再発卵巣癌の長期治療成績は向上しているのか?
~大規模ヒストリカル解析の結果から~
梶山広明、水野美香、吉川史隆、水野公雄、山室 理、木下吉登、松澤克治、
榊原克己、河井通泰、小口秀紀、中西 透、神谷典男
第 63 回日本産科婦人科学会(大阪)2011.8.29~31
15. タイムラオウスインキュベーターはART反復不成功に効果的か?
芳川修久、安藤寿夫、廣渡芙紀、向 麻利、諸井博明、横田夏子、寺西佳枝、
矢野有貴、高橋典子、岡田真由美、若原靖典、河井通泰
第 63 回日本産科婦人科学会(大阪)2011.8.29~31
16. 第1胚分割異常胚の発生頻度過少は Pregnancy loss の危険因子である
安藤寿夫、廣渡芙紀、芳川修久、向 麻利、諸井博明、寺西佳枝、横田夏子、
矢野有貴、高橋典子、岡田真由美、若原靖典、河井通泰
第 63 回日本産科婦人科学会(大阪)2011.8.29~31
17. 成熟嚢胞奇形腫の悪性転化 50 症例の臨床的検討
境康太郎、水野美香、梶山広明、河井通泰、松澤克治、中西 透、水野公雄、
山室 理、木下吉登、榊原克己、木下吉登、小口秀紀、吉川史隆
第 63 回日本産科婦人科学会(大阪)2011.8.29~31
18. 子宮頸癌に対する同時化学放射線療法の治療成績
山口恭平、浅井千尋、高橋明日香、吉田光紗、廣渡芙紀、向 麻利、芳川修久、
横田夏子、諸井博明、寺西佳枝、濱野恵美、矢野有貴、高橋典子、岡田真由美、
若原靖典、安藤寿夫、河井通泰、浅野晶子、舘 靖
第 129 回東海産科婦人科学会(四日市)2011.9.11
19. 産褥期に視力障害をきたし、症状改善後も脳血管病変が残存した妊娠高血圧症候
群の1例
花田美紗、岡田真由美、浅井千尋、高橋明日香、山口恭平、廣渡芙紀、向 麻利、
芳川修久、寺西佳枝、諸井博明、横田夏子、高橋典子、安藤寿夫、河井通泰
第 32 回日本妊娠高血圧学会(金沢)2011.10.21~22

20. PRES を呈した子癩 13 例の検討
岡田真由美、吉田光紗、山口恭平、伴野千尋、高橋明日香、廣渡芙紀、芳川修久、
向 麻利、横田夏子、寺西佳枝、諸井博明、高橋典子、安藤寿夫、河井通泰
第 32 回日本妊娠高血圧学会(金沢)2011.10.21～22
21. 当科で経験した子宮平滑筋肉腫の臨床病理学的検討
廣渡芙紀、浅井千尋、高橋明日香、山口恭平、吉田光紗、横田夏子、向 麻利、
芳川修久、諸井博明、寺西佳枝、高橋典子、岡田真由美、若原靖典、安藤寿夫、
河井通泰
第 49 回日本癌治療学会(名古屋)2011.10.27～29
22. 当院における I 期卵巣癌治療成績の検討
芳川修久、浅井千尋、高橋明日香、山口恭平、吉田光紗、廣渡芙紀、横田夏子、
向 麻利、寺西佳枝、諸井博明、高橋典子、岡田真由美、若原靖典、安藤寿夫、
河井通泰
第 49 回日本癌治療学会(名古屋)2011.10.27～29
23. Effect of extended pregnancy period on outcome in extremely preterm infant
Mari Mukai, Mayumi Okada, Fuki Hirowatari, Nobuhisa Yoshikawa, Natsuko Yokota,
Yoshie Teranishi, Hiroaki Moroi, Noriko Takahashi, Hisao Ando, Michiyasu Kawai
10th World Congress of Perinatal Medicine Punta del Este (Uruguay) 2011.11.8～11

座長

1. 子宮頸癌予防ワクチン講習会
河井通泰
(豊橋)2011.2.10
2. Ovarian cancer young doctor's seminar in 三河
河井通泰
(知立)2011.6.17

講演

1. 子宮頸癌予防ワクチン:サーバリックスについて
河井通泰
豊川市医師会予防接種講習会(豊川)2011.2.25

2. 子宮頸がんの診断と治療
河井通泰
第 10 回豊橋がん診療フォーラム(豊橋)2011.3.30
3. 婦人科がんの病態とリンパ浮腫
河井通泰
がんのリンパ浮腫研究会第7回講習会(名古屋)2011.9.10
4. 若手医師に是非伝えたい！子宮頸癌の臨床1・2・3！
河井通泰
Meeting of the Nagoya Young Gynecologic Oncologists 2011(名古屋)2011.9.16

論文

1. Comparison between serous and non-serous ovarian cancer as a prognostic factor in advanced epithelial ovarian carcinoma after primary debulking surgery
Satoyo Hosono, Hiroaki Kajiyama, Kimio Mizuno, Katsumi Sakakibara, Katsuji Matsuzawa, Akihiro Takeda, Michiyasu Kawai, Tetsuro Nagasaka, Fumitaka Kikkawa
Int J Clin Oncol 16:524-532, 2011
2. Survival impact of capsule rupture in stage I clear cell carcinoma of the ovary in comparison with other histological types
Makiko Higashi, Hiroaki Kajiyama, Kiyosumi Shibata, Mika Mizuno, Kimio Mizuno, Satoyo Hosono, Michiyasu Kawai, Toru Nakanishi, Tetsuro Nagasaka, Fumitaka Kikkawa
Gynecol Oncol 123: 474-478, 2011
3. Fertility-sparing surgery in young women with mucinous adenocarcinoma of the ovary
Hiroaki Kajiyama, Kiyosumi Shibata, Mika Mizuno, Akihiro Nawa, Kimio Mizuno, Katsuji Matsuzawa, Michiyasu Kawai, Satoyo Hosono, Tetsuro Nagasaka, Fumitaka Kikkawa
Gynecol Oncol 122: 334-338, 2011
4. Fertility-sparing surgery in patients with clear-cell carcinoma of the ovary: Is it possible?
Hiroaki Kajiyama, Kiyosumi Shibata, Mika Mizuno, Satoyo Hosono, Michiyasu Kawai, Tetsuro Nagasaka, and Fumitaka Kikkawa
Hum Reproduction 26: 3297-3302, 2011

5. Survival impact of adjuvant Paclitaxel and Carboplatin for earlystage ovarian clear-cell carcinoma with complete surgical staging
Hiroaki Kajiyama, Kiyosumi Shibata, Shiro Suzuki, Kazuhiko Ino, Michiyasu Kawai, Tetsuro Nagasaka, Akihiro Nawa, Fumitaka Kikkawa
Gynecol Obstet Investigation 72: 252-256,2011
6. Long-term survival of young women receiving fertility-sparing surgery for ovarian cancer in comparison with those undergoing radical surgery
H Kajiyama, K Shibata, M Mizuno, T Umezu, S Suzuki, A Nawa, M Kawai, T Nagasaka, F Kikkawa
British J Cancer 105: 288-294,2011
7. PRES を呈した子癇 13 例の検討
岡田真由美、吉田光紗、山口恭平、伴野千尋、高橋明日香、廣渡芙紀、芳川修久、向 麻利、横田夏子、寺西佳枝、諸井博明、高橋典子、安藤寿夫、河井通泰
妊娠高血圧学会雑誌 19:109-110, 2011
8. 産褥期に視力障害をきたし、症状改善後も脳血管病変が残存した妊娠高血圧症候群の1例
吉田光紗、岡田真由美、浅井千尋、高橋明日香、山口恭平、廣渡芙紀、向 麻利、芳川修久、寺西佳枝、諸井博明、横田夏子、高橋典子、若原靖典、安藤寿夫、河井通泰
妊娠高血圧学会雑誌 19:180-181,2011
9. 当院における「飛込み分娩」の現状
浅井千尋、岡田真由美、山口恭平、吉田光紗、高橋明日香、廣渡芙紀、向 麻利、芳川修久、横田夏子、諸井博明、寺西佳枝、矢野有貴、高橋典子、安藤寿夫、河井通泰
東海産科婦人科学会雑誌 48:41-44,2011
10. 子宮頸癌における同時化学放射線療法の治療成績
山口恭平、浅井千尋、吉田光紗、高橋明日香、廣渡芙紀、向 麻利、芳川修久、横田夏子、諸井博明、寺西佳枝、矢野有貴、高橋典子、岡田真由美、安藤寿夫、河井通泰
東海産科婦人科学会雑誌 48:105-110,2011

11. 卵巣癌治療中に薬剤性間質性肺炎となった1例

吉田光紗、浅井千尋、高橋明日香、山口恭平、廣渡芙紀、向 麻利、芳川修久、
横田夏子、諸井博明、寺西佳枝、小林浩治、高橋典子、岡田真由美、安藤寿夫、
河井通泰

東海産科婦人科学会雑誌 48:129-132,2011

